

第3回淀川舟運活性化協議会を開催しました

～淀川舟運活性化に向けた取り組みを推進～

淀川舟運活性化協議会では、2025年大阪・関西万博までの具体的な目標などを「中間とりまとめ」としてとりまとめるとともに、地域イベントと連携した社会実験等に取り組んできました。

このたび、「中間とりまとめ」に基づき、淀川舟運を核とした沿川のにぎわいづくりにつながる「かわまちづくり」等の取り組みについて議論するため、第3回淀川舟運活性化協議会を開催しました。

出席者からは、淀川大堰閘門の整備や航路確保による淀川舟運の復活やそれに伴う地域のにぎわい創出に対する期待や思いについて意見が出されました。また、枚方市、八幡市、京都市、宇治市から、各地区のかわまちづくり計画の検討状況について共有頂きました。

協議会概要

○日 時 令和5年3月14日(火)15～17時

○場 所 国民會館12階

○内 容

- ・中間とりまとめの概要と協議会としての活動報告
- ・近畿運輸局による取り組みについて
- ・近畿地方整備局による取り組みについて
- ・かわまちづくり計画について
(枚方市、八幡市、京都市、宇治市から共有)
- ・今後の議論内容

○出席者 ※ () 書きは今回代理出席

国土交通省	近畿地方整備局長
	近畿運輸局長
沿川自治体	大阪府知事 (大阪都市計画局技監)
	京都府知事 (建設交通部長)
	大阪市長 (建設局理事)
	高槻市長 (技監)
	守口市長 (理事)
	枚方市長
	寝屋川市長 (経営企画部次長)
	摂津市長 (教育総務部長)
	島本町長
	京都市長 (観光政策監)
経済団体	宇治市長
	八幡市長
	久御山町長
	水都大阪コンソーシアム委員長 (事務局長)
舟運事業者	特定非営利活動法人 大阪水上安全協会 会長 (産業部交通インフラ・まちづくり担当部長)
	大阪商工会議所 会頭 (地域振興部長)
鉄道事業者	京阪ホールディングス株式会社 代表取締役社長
	阪急電鉄株式会社 代表取締役社長 (都市交通事業本部長)



整備局長開会挨拶



運輸局長閉会挨拶



枚方市長



八幡市長



京都市観光政策監



宇治市長

主な意見

- 大阪府 舟運が定期就航する船着場などを活かし、駅前再開発と連携した枚方市ならでのかわまちづくり計画となることを期待。
- 京都府 治水事業の一環として、航路確保と船着場の整備に期待。
- 枚方市 枚方周辺でのナイトクルーズ等の多様な舟運コンテンツの実現や堤防上面を活用しながらにぎわいづくりを進めたい。
- 京都市 三栖閘門を伏見のシンボルとした「京都・伏見の新たな玄関口」の持続可能なにぎわいづくりを進めたい。
- 宇治市 鉄道との連携にも期待。四季折々の取り組みを通じたにぎわいづくりを進めたい。防災面からも中型船の航路確保に期待。
- 八幡市 背割堤周辺で、桜の時期だけでなく、豊かな自然環境を活用し、1年を通じたにぎわいづくりを進めたい。
- 久御山町 若者による農業やものづくり企業、競馬場などの地域資源を活用した体験などのコンテンツが考えられる。
- 関経連 川船、海船の乗換えの具体的な取り組みが必要。
- 大商 川とまちの間をつなぐ結節点として、にぎわい施設が重要。万博に向けた機運の醸成を支援していきたい。
- 水都大阪 かつて大阪湾から京都まで航行していた「川御座船」の復活など、淀川の歴史を知って頂くのも良いPRになる。
- 水安協 船の位置情報や航路情報を知ることが安全面だけでなく船内コンテンツとして有効。
- 京阪HD かわまちづくりには地域への愛着を育てる観点が必要。学習船もコンテンツとして考えられる。商業ベースのコンテンツが必要。
- 阪急電鉄 十三の整備が進んでいることを嬉しく思う。新大阪と淀川をつなぐゲートウェイとしても十三の活用を期待。

【問い合わせ先】

淀川舟運活性化協議会 事務局 (近畿地方整備局 河川部内)
〒540-8586 大阪市中央区大手前3-1-41 大手前合同庁舎
TEL 06-6942-1141

淀川舟運活性化協議会の取り組みはこちら。

<https://www.kkr.mlit.go.jp/yodogawa/use/ship/kyougikai.html>